

管理職向け インバスケッ研修

ねらい	通常の研修が知識を学ぶインプット型であるのに対し、インバスケッ研修は修得した能力やスキルを「実際に発揮できるか」測定するアウトプット型研修です。受講者は架空の組織の管理職として、限られた時間と情報の中で判断・優先順位設定・権限委譲を実践し、その回答内容から判断のクセや考え方を測ることができます。
対象	管理職（課長・マネジャー層）、管理職候補者
所要時間	4時間

【プログラム例】

プログラム	項目	手法
インバスケッとは	・インバスケッの概要 ・管理職として発揮したい能力と得られる効果 ・インバスケッ問題への取り組み（管理職ポジションでの案件処理）	講義 実習
優先順位設定	・「緊急度」と「重要度（影響度）」の軸 ・管理職に求められる時間の使い方（自ら動くか、任せるか） ・優先順位づけのワークと発表／優先順位マトリックスとの比較	講義 実習 ディスカッション
問題解決のプロセス	・問題解決の流れの理解と管理職としての意思決定の視点 ・問題解決のワークと発表（本質的な解決策と権限委譲） ・スコアリングシートの記入（進行によっては講義後セルフワークにて）	講義 実習 ディスカッション

※プログラムや項目は、貴社と打ち合わせしながら、変更してまいります。

※インバスケッ研修には、別途教材費3,300円（税込）/人 が必要です。

管理職向け インバスケッ研修

【概要】

1	インバスケッとは
■ インバスケッの由来や意味、アウトプット型の研修であることを理解してもらう ■ 管理職として発揮したい10の能力、インバスケッで得られる4つの効果の理解 ■ 「インバスケッ問題の取組み」では、架空の組織の管理職として60分で20の案件処理に取り組んでいただきます。時間内に全案件を回答しきれない時間設定とすることで、受講者の優先順位設定のクセや考え方を測ることができ、また知識や経験を実際にアウトプットすることで、管理職としての実務において「どれだけ使えるか」を測るツールとなっています。	
2	優先順位設定
■ パレートの法則や優先順位の軸「緊急度」「重要度（影響度）」、管理職に求められる時間の使い方について学びます ■ グループワークを通じて、自分の優先順位のつけ方と、他の受講者の優先順位のつけ方の違いに気づいていただくことで、受講者それぞれが自分自身の優先順位設定のクセや考え方を知ることができます。 ■ 他グループの発表を聞くことで、さらなる優先順位設定の視点を知ることができ、自部門の運営を客観的に捉え直すことが可能となります。	
3	問題解決のプロセス
■ 問題解決の流れや問題解決のさまざまな視点（顕在・潜在問題や一次対応、二次対応の違い、意思決定のパターンや権限委譲・対人関係能力の活用など）を学びます ■ 20案件のうち1つを選び出し、グループワークで本質的な解決策を討議し、発表してもらうことで、同一の案件に対する複数の視点や複数の解決策があることに気づいていただき、管理職としての自分自身のクセや考え方に気づくとともに、認知の拡大と修正を図ります。	